

陸軍特別大演習

小島 純二

私が陸軍特別大演習関連の消印を集めているのは、その時に臨時局が設置されているからです。

陸軍の特別大演習は明治25年に近衛，第一，第二の3個師団の参加の下に栃木県宇都宮市で行われたものが最初で，明治31年・34年～36年，明治40年～昭和11年まで計34回実施されました。

第4回の明治36年に特別大演習野戦郵便局を設置し，第5回の明治40年以降は陸軍特別大演習大本営内郵便局を設置すると共に特印も使用されました。

明治36年の陸軍特別大演習局は東軍第壹・東軍第貳・東軍第参，西軍第壹・西軍第貳・西軍第参の6局が設置され，丸一印形式で使用されました。

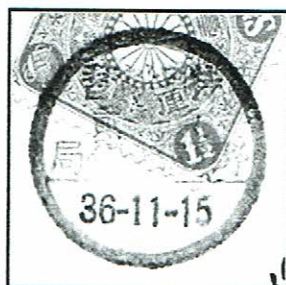
明治40年以降は陸軍特別大演習大本営内局で，櫛型印が使用されました。しかし，設置された場所が違うにもかかわらず同じ印影です。また，特印の使用も始まったので，櫛型印の残存数は少ない様です。

その後，大本営内局の特印ばかりで無く，一般の局で使用された特印も集めるようになり，全局完集を目指しています。しかし，最後の3年は特印使用局が大幅に増えており，なかなか集まりません。

リーフ紹介をするのは，福岡県で実施された明治44年と大正5年のものです。明治44年の特印は大本営内局と久留米局で使用され，大正5年の特印は大本営内局，福岡局，西新局，箱崎局，佐賀県鳥栖局の5局で使用されました。



東軍第壹



東軍第貳



東軍第参



西軍第壹



西軍第貳



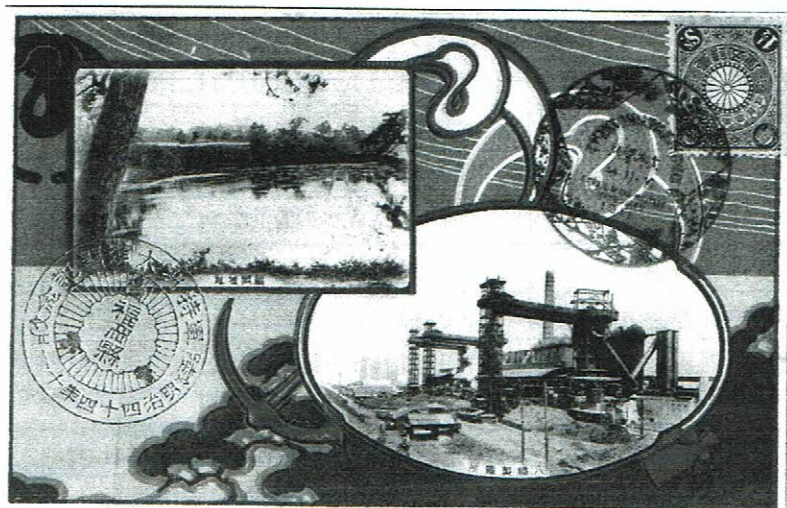
西軍第参

陸軍特別大演習実施地区と臨時局

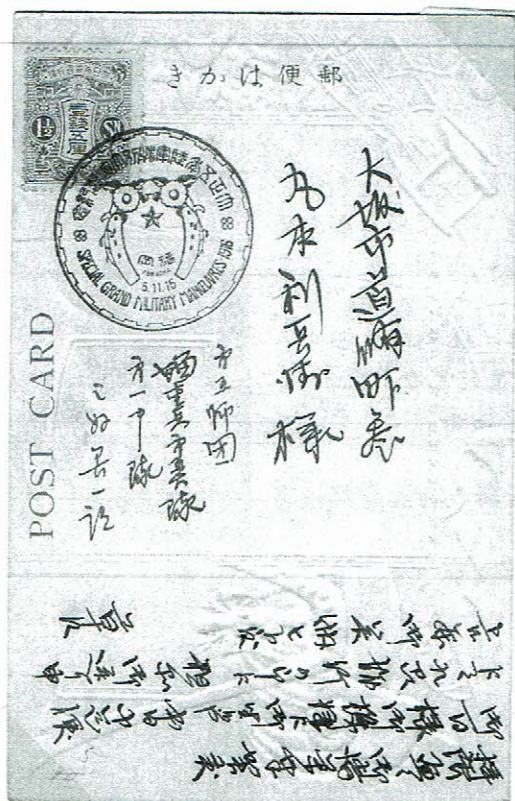
年度	実施地区	臨時局設置期間	特印使用局
明治36年	兵庫県 姫路地方	明治36. 11. 11～明治36. 11. 15	
明治40年	茨城県 結城郡	明治40. 11. 13～明治40. 11. 20	下館局, 他2局
明治41年	奈良県 奈良市	明治41. 11. 09～明治41. 11. 16	奈良局, 他1局
明治42年	栃木県 宇都宮市	明治42. 11. 04～明治42. 11. 11	宇都宮局
明治43年	岡山県 岡山市	明治43. 11. 11～明治43. 11. 18	岡山局
明治44年	福岡県 久留米市	明治44. 11. 09～明治44. 11. 16	久留米局
大正元年	埼玉県 入間郡	大正01. 11. 13～大正01. 11. 20	川越局, 他1局
大正2年	愛知県 名古屋市	大正02. 11. 12～大正02. 11. 18	名古屋局
大正3年	大阪府 大阪市	大正03. 11. 14～大正03. 11. 20	大阪局
大正4年	青森県 弘前市	大正04. 10. 19～大正04. 10. 25	弘前局
大正5年	福岡県 福岡市	大正05. 11. 08～大正05. 11. 17	福岡局, 他3局
大正6年	滋賀県 犬上郡	大正06. 11. 12～大正06. 11. 18	彦根局, 他3局
大正7年	栃木県 下都賀郡	大正07. 11. 12～大正07. 11. 19	栃木局, 他2局
大正8年	兵庫県 武庫郡	大正08. 11. 09～大正08. 11. 15	須磨局, 他1局
大正9年	大分県 中津地方	設置無し	大分局, 他5局
大正10年	神奈川県横浜市	大正10. 11. 15～大正10. 11. 21	東京局, 他1局
大正11年	香川県 高松市	大正11. 11. 13～大正11. 11. 21	高松局, 他3局
大正13年	石川県 金沢市	大正13. 11. 01～大正13. 11. 07	金沢局, 他1局
大正14年	宮城県 仙台市	大正14. 10. 17～大正14. 10. 24	仙台局
大正15年	佐賀県 佐賀市	設置取消	佐賀局, 他1局
昭和2年	愛知県 名古屋市	昭和02. 11. 12～昭和02. 11. 20	名古屋局, 他1局
昭和3年	岩手県 盛岡市	昭和03. 10. 04～昭和03. 10. 10	盛岡局
昭和4年	茨城県 水戸市	昭和04. 11. 14～昭和04. 11. 18	水戸局
昭和5年	岡山県 岡山市	昭和05. 11. 13～昭和05. 11. 17	岡山局
昭和6年	熊本県 熊本市	昭和06. 11. 11～昭和06. 11. 15	熊本局, 他2局
昭和7年	大阪府 大阪市	昭和07. 11. 10～昭和07. 11. 14	大阪局
昭和8年	福井県 福井市	昭和08. 10. 23～昭和08. 10. 27	福井局
昭和9年	群馬県 前橋市	昭和09. 11. 10～昭和09. 11. 14	高崎局, 他33局
昭和10年	鹿児島県鹿児島市	昭和10. 11. 08～昭和10. 11. 10	鹿児島局, 他15局
昭和10年	宮崎県 都城市	昭和10. 11. 10～昭和10. 11. 13	宮崎局, 他7局
昭和11年	北海道 札幌市	昭和11. 10. 01～昭和11. 10. 06	札幌局, 他32局

※特印使用局に大本营内局を除く

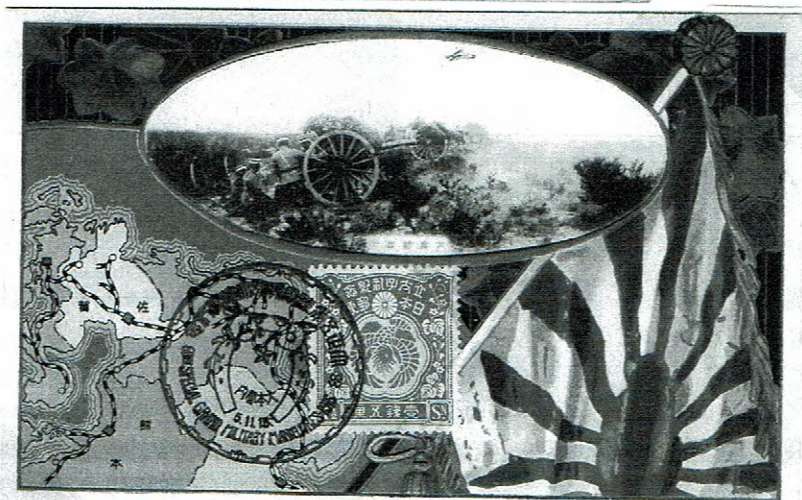
明治44年 福岡県 大本営内局, 久留米



大正5年 福岡県 大本営内局、福岡、鳥栖、福岡・西新、箱崎



福岡



大本営内局